



2022年2月14日

各 位

オーケー食品工業株式会社
代表取締役社長 大重 年勝
(JASDAQ・コード2905)
問い合わせ先
専務取締役管理本部長 城後 精二
電話(0946) 22-2000

2022年3月期第3四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書提出のお知らせ

当社は、本日、企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15の2第1項に規定する四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書を福岡財務支局へ提出することを決定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 対象となる四半期報告書

2022年3月期第3四半期報告書

2. 延長前の提出期限

2022年2月14日

3. 延長が承認された場合の提出期限

2022年2月28日

4. 当該四半期報告書の提出に関して当該承認を必要とする理由

(1)サイバー攻撃の概要

2021年7月7日未明から、当社が使用している親会社である(株)ニッパンのグループシステムでサイバー攻撃によるシステム障害が発生しました。被害を封じ込めるための対応として、(株)ニッパンは、速やかに全サーバーの停止と社内外のネットワークの遮断を行いました。それにより、基幹システムをはじめとする全ての社内システム、データが保管されている共有ファイルサーバーへのアクセスも不可となりました。なお、今回報告日時点においても依然として当社が使用しているネットワークは遮断されたままの状態となっております。

(株)ニッパが、外部専門家に依頼し実施した調査によると、障害の対象となる情報システムのいずれにおいても、サーバーのボリュームもしくはサーバーの内部に格納された電子ファイルの大部分に暗号化が施されており、システムの起動そのものが不可能であること、サーバーの早期の復旧に有効

な技術的手段が現状確認されていないこと、また、システムのデータバックアップを管理するサーバーにおいても同様の状況であり、データの復旧に有効な技術的手段も現状確認されていないことが報告されました。

(2) 決算実務の状況について

㈱ニッポンでは、外部専門家を含む対策チームを設置し、当社も含めたグループ全体でシステムの復旧に努めております。

第1四半期においては、当社と当社子会社が利用している会計システムのバックアップデータに被害を受けていなかったことから、安全性を確認のうえ、システム障害発生前の状態に復旧し、8月18日から決算処理を再開いたしました。

ただし、当社のビジネス活動に必要な会計情報に連動している生産販売基幹システムについては、バックアップデータには被害を受けていなかったものの、システムデータを管理するグループサーバーを使用できない状況が続いており、当面は、当社内に設置したアクセス数が制限された仮サーバーにて運用を続けておりましたので、決算処理には時間を要しておりました。

なお、仮サーバーとは、当社内に設置したインターネットを通じてサービスを提供するコンピューターですが、従来利用していた通信環境よりも処理能力が劣るため、アクセス数が制限される上に、動作も時間を要し、従来のように大量なデータを同時に処理することは出来ない状況でありました。

このような状況の中、仮サーバーから更に高スペックであるレンタルサーバー4台に入れ替えを行った2月初旬まで、経費精算システム以外の会計システム、人事給与システム、生産販売基幹システムは仮サーバーで復旧したものの、前述の理由により従来どおりに運用出来る業務は一部に限られておりました。

(3) 第3四半期報告書作成完了までの見通し

① 第3四半期決算作業の現況

当社単体は、基幹システムデータを管理するグループサーバーを使用できない状況が続いているため、システム停止後から受注出荷の記録・入金等の対応を手作業で対応しておりますが、売上集計と請求書発行のみを仮サーバーで稼働させました。

一方、棚卸資産の入出庫、社外からの原材料の購入、社内経費の精算等は全て手作業による運用のため作業に相当な時間を要しております。

なお、従来夜間に自動連係される生産販売基幹システムから会計システムへの仕訳データは、システム障害によりストップしていた状態から、ようやく10月27日に手動で会計システムへのデータ取込を開始し、1月7日までに12月までの仕訳データを全て取込みました。

② 第3四半期報告書の提出の見込み

経費精算システム以外の会計システム、人事給与システム、生産販売基幹システムは仮サーバーで一部稼働したものの、仮サーバーは、従来利用していたグループサーバーの通信環境よりも処理能力が劣るため、アクセス数が制限される上に、動作も時間を要し、従来のように大量なデータを同時に処理することが出来ない状況が続いておりました。

また、年明け後に復旧する予定であったネットワーク環境の復旧が当初の想定より遅れる見通しとなったために、現在の仮サーバーから更に高スペックであるレンタルサーバー4台に入れ替え

を行い、2月より日々の受発注、在庫記録等の自動化を再開させました。更に、11月からは生産販売基幹システムの開発元会社による、現地サポートやリモート操作によるシステムデータの取込作業等の支援を継続して受けております。2月14日報告時点の進捗としましては、2021年10月分は12月20日、11月分は2022年1月6日、12月分は1月20日に月次決算が完了し、現在は連結決算作業を経て第3四半期報告書の作成に取り組んでおります。

現況に鑑みて従来に近い決算スケジュールを組める見通しが着いているものの、第2四半期同様、特殊な業務プロセスが継続しているため、会計監査人の第3四半期レビューが通常より時間を要するとの説明を受けております。

これらの状況を踏まえ、当社は、金融商品取引法24条4の7第1項で定められている第3四半期報告書の提出期限である2022年2月14日までに当社の2022年3月期第3四半期連結財務諸表の作成及び会計監査人のレビューを完了することができないと見込んでおり、かかる理由により2022年3月期第3四半期報告書の提出期限延長について申請を行いました。

当社はやむを得ず第3四半期報告書の提出期限延長申請をいたしますが、本申請により延長承認を受けた場合、株主様・投資家様に対する情報開示の責任を果たすため、必ず2022年2月28日の提出期限を遵守いたします。

また、2022年3月期第3四半期連結決算発表につきましても2022年2月28日までには、発表する予定でおります。

5. 今後の見通し

今回の提出期限延長に関する申請が承認された場合は、速やかに開示いたします。

株主、投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には多大なるご迷惑ならびにご心配をおかけいたしますこと、心より深くお詫び申し上げます。

以 上